

KAYUKAI

香友会だより

あいさつ

同窓会会長
松本 康範

香友会員の皆様におかれましては、益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並びに母校の発展のため格別のご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

新校舎も完成され、南正門から正面には、東館、西館その中央に堂々と聳え立つ蕨の時の時計塔があります。是非一度立ち寄って県内屈指の母校(生徒総数九百五十名)の雄大な景色をご覧ください。感動が伝わります。

わが母校が日本一の生徒総数だった昭和四〇年は私が在学中でしたのでよく覚えております。二八四〇名のマンモス校であり攘夷の巨頭として全国にその名を轟かせていました。皆様もご承知のとおり今世界経済

リーマンショックとは比較にならない一〇〇年に一度の悪魔新型コロナウイルスが振りまき政府は四月十六日に全国都道府県に「緊急事態宣言」を発令しました。

同窓会も三密、自粛を考慮し、想定を上回る緊急事態に苦渋の決断をせざるを得なく、理事会の皆様と理事、総会の議案の件などについて書面決議をいただき承認をされ中止する事となりました。

最後になりましたが今回の新型コロナウイルス等の経験から学びました。

「三訓」

自己管理

自己責任

自己防衛

会員ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りご挨拶といたします。

あいさつ

校長
松本 聡司

青田をわたる風も快く感じられる頃となりました。香友会の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、母校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、私こと、今春の人事異動で石田高校から赴任いたしました。5年の歳を隔て2度目の勤務になります。以前勤務していた頃に校舎の全面改築の第一期工事が始まり、北運動場にはプレハブの仮校舎が建てられていました。重機による解体時の騒音があつたり、建設のためのフェンス囲いで校内移動が制限されたりする中でも、生徒は笑顔と活力を絶やすことなく、それぞれの学科の特色を生かした学習活動に励むとともに



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 松本康範
香川県高松市宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

に、また、多彩な学校行事や部活動等も含めた学校生活に意欲的に取り組んでいたことを覚えております。校舎は新しいものにすっかり変わりましたが、先輩から後輩へと生徒たちの努力によって守られてきた伝統や校風はしっかりと受け継がれているなという印象を受けています。

さて、学校では令和2年3月初めより新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業が始まりました。4月には学校再開となり、入学式は卒業式と同じように入学生、保護者、教職員のみで挨拶や祝辞もないシンプルなものとなりましたが、無事挙行することができました。本年度は高等学校本科283名、専攻科34名の者の入学を許可しましたので、高校生が840名、専攻科生が65名で、全校生徒数は905名になります。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、再び学校は5月8日まで臨時休業となり、生徒たちはほぼ2カ月学校に通えないという状況に

なっています。終息の先行きが見えない不安の中、年度替わりの節目の時期を含む長期の休業は、生徒たちに有形無形のさまざまな影響を及ぼすのではないかと危惧しています。

高松南高校は、生徒数及び教職員数も多いこともあり、すぐには全体像を把握することは難しいと感じていますが、いろいろな方から教えていただいたり、学習や部活動、学校行事等に全力で取り組む生徒たちの生き生きとした姿を見ながら、少しずつ学んでいきたいと思っています。また、来年度は創立110周年を迎えると聞いており、今年度から記念事業について同窓会の方々と相談をしながら、進めていこうと考えていますので、是非ご理解とご協力をお願いいたします。

今後とも先輩諸兄姉が築かれた輝かしい伝統を受け継ぎ、創立以来の校訓である「今日あるを感謝し 最善を尽くして 日々に進むべし」を肝に銘じつつ、未来を切り拓くたくましい人材の育成に向けて鋭意努力してまいります。香友会の皆様の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げますとともに、香友会のますますの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げて、ご挨拶といたします。

南高百景

新たな学舎（まなびや）

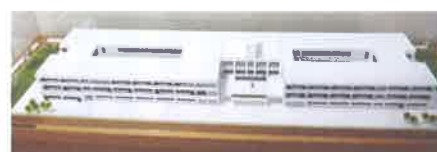


「南高百景」も5回目となりました。今回のテーマは新校舎です。平成二十六年から始まった校舎改築工事がついに終了し、昨年度から全館利用可能となりました。西館は先行して利用しており、以前の号で簡単に記しましたが、全館完成しましたので改めてご紹介したいと思います。

正門を入ると正面に見えるのが新校舎です。時計のある塔は旧管理棟を彷彿とさせます。その塔を境に向かって左側が西館、右側が東館となります（区別はしていますが内部では繋がっています）。校舎の中は従来の校舎と異なり、中央に大きな吹き抜けを挟んで、その両側に廊下と教室が配置された対面構造的なつくりとなっています。玄関には広いスペースがあり、校舎と言うよりは、大学の学舎または企業のオフィスといった雰囲気も感じられます。

まず西館ですが、一階は進路指導室、環境科学科ホームルーム教室、専攻科ホームルーム教室があります。二階は看護科ホームルーム教室と主に看護科の実習室です。三階は普通科ホームルーム教室、理科教室、音楽室、パソコン教室、環境科学科実習室などがあります。一方の東館は一階には保健室などがあり、二階と三階には家庭科の実習室に加えて普通科、生活デザイン科のホームルーム教室や分割授業のためのL教室が配置されています。そして両館を繋ぐ二階には図書室があります。

新校舎のあちこちにはベンチのほか、先代ヒマラヤ杉を加工した年輪モニメントや机・イス、そして校舎の模型などが置かれており、日々の中で南高の歴史を感じる事ができます。また、この新校舎で特筆するべきは何となく二階のテラスです。このテラスには花や野菜の苗などが植えられており、晴れた日には実に心和む空間となっています。そ



してこのテラスを介して新校舎と本館が繋がっており、南高の新たな姿を形成しています。このように新しくなった南高の校舎を卒業生の皆様にも文化祭やその他の機会に見ていただきたいと思います。



新しい校舎となった南高ですが、その中で学ぶ生徒たちは卒業された先輩方と同じように、南高に対して熱い想いと誇りをもって学習や、その他の活動に励んでいます。この新しい校舎はこれから長く生徒たちを見守り、そして新たに南高の歴史を紡いでいくことができるでしょう。

長い間「南高今昔」、「南高百景」をお読みいただきありがとうございます。当にお世話になりました。来年度からは装い新たな「南高百景」となることと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

前香友会事務局
亀田 直樹

支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部支部長 中澤 正信

「令和」の改元ブームに沸いた昨年のゴールデンウィーク中、全国各地の神社で御朱印を求める人々が長蛇の列をなしたことを覚えておられますか。あれから一年光景は一変しました。夢と希望に胸を弾ませて入学した新入生、そして進学あるいは就職に向けて張り切っていた在校生の皆様は新型コロナウイルス感染防止のためこれまでの登校日数は数日とお聞きしております。新型コロナウイルス禍の一日も早い収束を願うばかりです。

関西支部は昨年十月二十日(日)道頓堀ホテルに於いて第十七回の総会と懇親会を開催しました。本校からは松本香友会々長、平畑学校長、亀田直樹、吉本靖子、山田直人の各教諭と長年関西支部の事務局長として支えてもらった金子玲子様のご出席を頂きました。



物故者の黙祷に始まり松本会長から香友会の活動内容や創立百十周年を向える事業内容説明等の御挨拶があり、その後事業報告、会計、監査報告が行われ一部の総会には滞りなく終了しました。

続いて二部の懇親会に移り平畑校長先生の御挨拶がありました。校長先生は令和二年三月末で定年退職をされることを話をされました。関西支部は平畑校長先生に大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

続いて懇親会に移りましたが会が進むにつれ「何しよったんな。心配しよったんで。元気でやっとな。」と言う懐かしい讃岐弁が飛び交い座は一気に盛り上がりました。和気あいあいの雰囲気の中ビンゴゲームを行ない関西支部の総会を終了しました。関西支部の総会は隔年ごとの開催です。第十八回の開催は来年の令和三年十月を予定しております。改めて御案内申し上げますので多数の御出席をお待ちしております。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 安田 正彦

令和元年八月四日(日)九時より、田村神社会館にて、一宮支部総会を母校平畑 博人校長先生をご来賓に迎え開催いたしました。

前年度の事業報告・会計報告ならびに、今年度の事業計画・予算案を審議しすべてご承認を頂き無事総会を終えました。

前支部長、森 卓志さんが昨春秋ご逝去されましたことを心からご冥福をお祈り申し上げます。

母校は、一宮地区内にある関係で

香友会一宮支部会員のみなさんへ

一宮支部長 安田 正彦

高松南高等学校同窓会 一宮支部総会ご案内

新型コロナウイルスの感染防止のため
令和二年度香友会一宮支部総会は中止します

一宮支部会員ならびに一宮小学校・一宮中学校と、地区内の花いっぱい運動、防災訓練、体験学習等各行事又学校行事に会員・生徒児童が参加しておたがい交流を深めています。

今年度は四月に役員会、八月に総会と計画をたてていましたが、新型コロナウイルスの影響で計画を遂行することができませんでした。

最後になりましたが、一宮支部の会員の皆さま並びに母校香友会会員の方々、目に見えない敵、新型コロナウイルスが、まだ日本中にはびこっています。負けないよう十分に健康に気をつけて、来年の総会で再開できることを願っています。

皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

卒業生リレー寄稿 ⑬

「戴帽式に参加して」



昭和57年3月
衛生看護科専攻科修了
美濃久美子

私は、昭和五十七年三月に衛生看護科専攻科を卒業しました。卒業後は、実習先としてお世話になった社会保険栗林病院に就職し、急性期の病棟に配属となりました。その後産科、小児科等色々な部署を経験し、平成二十九年に、島根県の玉造病院へ副看護部長として異動となりました。平成三十一年に、独立行政法人地域医療機能推進機構つりん病院の看護部長を拝命し、地元に戻って来ました。

専攻科卒業後は、母校から足が遠のいていましたが、昨年度から入学式や卒業式に参列させて頂き、母校を訪れる機会が増えました。校舎は新しくなっていました。今は無き旧体育館で一生懸命部活に励んでいたことや食堂が近かった教室から、いち早く食堂に駆け込み友人と食べた昼食等思い出が蘇りました。

そんな中母校の戴帽式に、戴帽者として出席させて頂きました。

コロナウイルスの影響もあり、少人数での開催でしたが、式が挙行される前に、ナースキャップをつけるキャップに感動を覚えながら、厳かに式が始まりました。

戴帽者として登壇し、戴帽者一人一人に戴帽していく中、三十年以上前に行った自身の戴帽式が蘇り、胸が熱くなりました。

昨今ではナースキャップの廃止に伴い戴帽式をやらない学校やナイチンゲール誓詞においても今の時代にそぐわないという理由から違和感を覚える看護師も多く、戴帽式で朗唱しない事も増えていると聞きます。しかし患者のために力を尽くすという医療者としての態度や心構えは、百年以上経った今でも看護師として身につけなければならない基本姿勢です。そして戴帽生が一生懸命創り上げ挙行する戴帽式での思い出は、残り続けていきます。この素晴らしい式を今後も続けていって欲しいと願います。

今の私の役目の一つは、卒業し就

職した後輩達を、看護って素敵。看護師になって良かったと思えるように育てていくことと改めて実感しました。定年まであと少し、今後同期の仲間、師長、スタッフ皆に支えてもらいながら、りつりんに就職して良かったと思えるような後輩育成をしていきたいと思っています。

「時遊会に思いを寄せて」



昭和57年3月
普通科卒
上本 郁世
(中絶)

卒業して何年の月日が経ったのかと？ふと思えます。高校生活を振り返ってみると、先生と向き合って授業を受け、休み時間を忘れてクラスの仲間と会話をし、放課後は部活動(陸上部)に明け暮れ、疲れきって電車に乗り込んだ自分を思い出します。

2・3年同じクラスの友とは、平成最後の夏に、卒業以来2回目の同窓会で再会し、令和元年に同窓生との繋がりが切れることなく続く会と

して結成された会が「時遊会(じゅukai)」です。南高時代、喜怒哀楽全てを共有した友に、何年経っても会いたい気持ちは皆同じだと思います。

南高時代の担任の話を語らずにはいられません。当時3年8組の担任で、亡き太田啓太先生には大変お世話になりました。社会の先生で、授業中はいつも話が脱線し、教科書どおりには進まず、太田先生の学生時代の失敗談や、社会人として役立つ話も授業の中に交え、社会の苦しい私でも授業が楽しかった思い出が沢山あります。太田先生の黒板に書く字にも個性があり、先生の声・字体全て今も鮮明に覚えています。太田先生のテストも独特で、確か、100問あって、1問1点だったことを覚えていてます。考える時間もなく、ひたすら覚えたことを書く、時間が勝負のテストでした。私にとって、忘れることのできない太田先生には感謝の言葉でいっぱいです。「先生、ありがとうございます。」「お会いしたくても、お会いすることができないのが残念でなりません。

また、南高生活の中でも、思い出は数知れず沢山ありますが、しいて言うならば、体育祭・南高祭は授業を離れクラスの仲間が一丸となって取り組む祭りで、意外にも協調性があったことを思い出します。陸上部はリレーには出れず、体育祭の最後

のリレーだけは、走れない悔しさを今も鮮明に覚えています(笑)
★五七年卒・3年8組の同窓生へ★
5年後、「時遊会」で必ず会いましょう。わいわいガヤガヤと南高時代の同窓生全員と当時の話で盛り上がり、忘れかけていた思い出に時を重ねて、語らいませんか。

最後に、南高時代にお世話になりましたその他大勢の先生方にも感謝致します。ありがとうございます。
今現在、家庭と両立しながら、大手ベッド会社の福祉事業部で業務の仕事が続けています。機会があれば、高松南高の正門をくぐり校舎を見ながら当時の学生生活を振り返り、思い出にひたりたいと思います。

「私の原点」



平成20年3月
環境科学科卒
仲野祐一郎

私は12年前、高松南高校の環境科学科の一期生として卒業しました。高校時代の思い出は数多くありますが、今でも心に残っているのが部活動と環境科学科の都市園芸コースの実習です。

部活動は野球部に所属していました。甲子園を目指し、暗くなるまで白球を追いかけて、汗と涙を流し頑張

りました。三年生の時キャプテンになりましたが、チームをまとめられたのはチームメイトや後輩、マネージャーの支えがあったからです。

最後の夏の県大会では、チーム一丸となって「最後まで諦めない気持ち」で戦い、サヨナラ勝ちをしました。応援してくれた先生や生徒、保護者の皆さん、私を含めたチームメイト全員に残る試合ができたと思っています。

野球部として過ごした三年間は、辛いことの方が多かったかもしれませんが、苦楽を共にしたチームメイトは、今では私の人生の宝物であり、一生の財産になっています。

環境科学科の都市園芸コースでは、野菜と果樹を専攻していました。夏の暑い日も、冬の寒い日も作業着に着替えて農場に行き2時間、多いときは4時間も実習しましたが、私は外に出て作業する実習が好きでした。将来は植物に触れる仕事に就こうと思ったのも、その頃です。

現在は「宮武ガーデン」に就職し、庭造りで植木や草花の植栽をしたり、観葉植物の管理や貸鉢業などをしていきます。時々場所でお勧めできる草花を、的確にお客様に提供できるのも高校時代の実習の成果であり、現在の道が開けたといっても過言ではありません。

最後に、新型コロナウイルスの影響で多くの大会が中止になりました。

特に、3年生は高校生活の最後の大会であり、辛い悔しい思いをしている人が多くいると思いますが、今までやってきたことは、あなたたちの将来に必ずや生きてきます。目の前の課題に一つ一つ取り組む中で、将来進むべき道のヒントを見つけ、自分にしかできないオンリーワンのポジションに就けることを願っています。

「挑戦って?」

平成27年3月

福祉科卒



山本 航誓

最初のタイトルにインパクトがないと、私自身高校時代読まなかったため、こんなタイトルにしてみました。

私は、福祉科の三期制として卒業しました。ヤマモトコウセイと言います。現在は、鍼灸師の養成校に通いながら、柔道整復師(接骨院の先生)として活動しています。その他にも、プライベートでは、ヒッチハイクや芸能人のイベントの運営スタッフ等の活動を行っています。挑戦すること、人のご縁にも恵まれ、様々な経験をしました。

また、東京オリンピックの聖火ランナーにも選出されました。延期に

なりましたが・・・(笑)

しかし、私の高校時代は挑戦したと思っていても失敗が怖くて挑戦することもありませんでした。ただ、ボーっと日々を過ごしていた。このままで良いのかと悩むこともありました。しかし、どうしたらいいかわかりませんでした。

今これを読んでくれている高校生の方達も私と同じような悩みを持っている方もいるかもしれません。偉そうに聞こえるかもしれませんが、ちょっとだけ先輩なので良かったら参考にして下さい。

私は、ここ数年で高校時代あった失敗が怖いから挑戦しないと言う悩みを克服しました。どうしてその悩みがなくなったのか、結論を言うと、「挑戦は成功か失敗かで見ると重く感じる。様々な可能性とみる」と捉えたと楽になったからです。理由は、挑戦を成功か失敗という二択でみると答えが成功か失敗で別れるが、可能性という視点で見ると、挑戦したからこそ出会う人たちがいるし、伝えられることもあるので、挑戦によって「こんな可能性があるんだ」と気づいたことも成功だと私は思っています。私自身もヒッチハイクを挑戦したことにより、そこで乗せていただいた方に出会いました。お話しする中で挑戦によっておこる可能性がたくさんあると体感しました。

そこから、挑戦する度に様々な可

能性に気づくことが楽しくなり、ワクワクするようになりました。そのため、色々な事やワクワクすることをしたいのだと思います。私もまだまだ結果を出せていませんが、明るい未来に向かって頑張っていきたいと思います。高校生の方達に少しでも何かのきっかけとなり、挑戦が常に身近な事になればと思っています。最後まで読んでいただきありがとうございます。

「高校生活で得たこと」

平成27年3月

生活デザイン科卒



吉田 瑞規

私は、平成二十七年三月に高松南高校家政科を卒業しました。卒業後は愛媛県の調理製菓専門学校へ進学し、調理師と介護食士の資格を得ました。

私は昔から、食べることが大好きで自分も大きくなったらくさんの人に美味しいものを食べて欲しいと思います。調理の道に進みました。高校では、少しでも専門的に調理の勉強をしたいと思い、高松南高等学校に進学しました。

小さな頃から、人見知り知らないう人ばかりの環境にとっても不安がありました。しかし、自分から動き、

人の輪を広げていくことで、クラスに溶け込むことができました。三年間苦楽を共にした友人たちは卒業後もとても大切な存在です。専門学校に入学してからも、直ぐに周り打ち解けることができました。松山でもたくさんの人と出会い、学校の友人、先生、お世話になったバイト先の店長、仲間たちと、今でも悩みを相談したり、困っている時、力になってくれるそんな絆を作ることができました。

また、家政科では、健康栄養コースを専攻し料理の基礎知識と技術を学びました。基礎を学んでいたの、進学後もスムーズに勉強に励むことができ、更に介護食士やカフェクリエーター等、様々な資格を取ることができました。

卒業後はホテルに就職し、洋食の料理人の人との出会い高校生活で得た行動力を活かし、洋食だけでなく、和食や中華の料理人ともすぐに打ち解けることができました。毎日、新しい発見があり学ぶことができる。それがとても楽しく調理の道に進んでよかったと感じています。

人との出会い、その繋がりを大切にするので、成長でき自分の武器になります。今まで出会った人や、これから出会う人に喜んでもらえるような最高の料理を作るプロの料理人を目指して日々仕事に励み、一歩先を目指して頑張っていきたいと思います。

令和元年度のおもな成績



〈ソフトボール部(女子)〉

○県総体 優勝

(四国大会優勝・全国大会出場)

○県新人 準優勝

〈剣道部(男子)〉

○宇多津近県大会 準優勝

○選抜大会県予選 3位

(四国新人出場)

〈剣道部(女子)〉

○県新人 3位

○選抜大会県予選 3位

(四国新人出場)

〈相撲部〉

○県総体 団体 優勝 個人 優勝

(四国・全国大会出場)

○県選手権 団体 優勝 個人 優勝

○県新人戦 団体 優勝 個人 優勝

〈バレーボール部〉

○県総体 3位 (四国大会出場)

○県選手権 準優勝

○県新人 3位

〈ハンドボール部(男子)〉

○県総体 男子4位 女子3位

(四国大会出場)

○県新人 男子3位 女子3位

○選抜大会県予選 女子3位

〈テニス部〉

○県新人戦 団体3位

ダブルス3位

○県総体 団体3位 (四国大会出場)

ダブルス3位

(四国大会出場)

○県ジュニア16歳以下

ダブルス優勝

〈バスケットボール部(女子)〉

○県総体 準優勝 (四国大会出場)

○選抜大会県予選 3位

○県新人 準優勝 (四国大会出場)

〈水球部〉

○県総体 優勝

(四国大会優勝・全国大会出場)

○県新人 優勝

〈サッカー部〉

○高円宮杯U18 サッカーリーグ

1部10位 2部10位

○県選手権 ベスト8

○県新人 ベスト8

〈弓道部〉

○会長杯弓道大会(1年生大会)

男子団体 優勝

○県新人 女子団体 3位

〈書道部〉

○全国高校書道展 特選

○全国書道展 特選

○国際高校生選抜書展 優秀賞



〈写真部〉

○第7回さかいでの四季フォト

コンテスト 奨励賞

〈吹奏楽部〉

○全日本吹奏楽コンクール

香川県大会 銀賞

○県総文祭フェスティバル 奨励賞

〈環境科学部〉

○香川県学校農業クラブ連盟

意見発表会 出場

〈美術部〉

○県総文祭美術・工芸展覧会

平面部門 優秀賞

○全国総合文化祭美術・工芸部門

出品

〈合唱部〉

○全日本合唱コンクール

香川県大会 銀賞

○全日本合唱コンクール

四国支部大会 銀賞

○全国高等学校総合文化祭

文化連盟賞

○香川ヴォーカルアンサンブル

コンテスト 銀賞、審査員特別賞

〈放送部〉

○香川県総合文化祭放送部門発表会

ラジオドラマ部門 3位、入選

アナウンス部門 2位

朗読部門 入選



令和二年三月卒業生

看護科 三十五名

環境科学科 三十四名

生活デザイン科 三十五名

福祉科 二十八名

普通科 百五十五名

合計 二百八十七名

専攻科看護科修了生 三十三名

今年から新たに同窓会(香友会)に加わった人数です。

南高校出身力士

○希善龍

三月場所 四勝三敗

番付 東幕下八枚目

○大喜翔

三月場所 五勝二敗

番付 東幕下四十枚目

○大翔宗

三月場所 三勝四敗

番付 東三段目九十七枚目

三人の南高校出身力士を香友会でも応援していきたいと思えます。

ヒマラヤ杉二世

長い間高松南高校を見守っていたヒマラヤ杉を病気のため伐採し、その二世を平成三十年三月に植樹しました。伐採したヒマラヤ杉は高松南校内で机や椅子として生徒の学びの場、お客様との応対場所となっています。今回はそのヒマラヤ杉二世の生育状況をお伝えしたいと思います。



樹高は三・五メートルで、生育状態は良好です。



高松南高校のコロナ対策



長い臨時休業期間が終わり、六月一日から生徒全員が登校できるようになりました。高松南高校でもコロナ対策のため、学校に来る前に検温し、登校の有無を確認の上登校させ、校内では、生徒・職員全員がマスク着用の上、換気、手洗い、アルコールでの消毒を徹底して行ない、普段通りの学校生活が送れるように対策を行っています。

令和2年度 南 高 祭

コロナウイルスの影響により、一般公開は中止となりました。来年以降は一般公開も行う予定ですのでよろしくお願いします。

令和2年度 高松南高等学校 定期演奏会

コロナウイルスの影響により、十月以降の開催予定になっております。中止の場合もございます。

香川県立高松南高等学校HPアドレス
<https://www.kagawa-edu.jp/minamh02>

お悔み

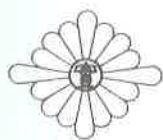
香友会理事の森卓志様が令和元年九月十二日、永眠されました。

森様は昭和二十九年に本校を卒業されました。その後理事として、長年にわたり香友会発展にご尽力されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

お悔み

梶周平様が令和二年三月、永眠されました。

梶様は昭和二十八年に本校を卒業されました。その後母校の農業科職員として教育に当たり、退職後は国分寺支部の理事、評議員として、長年にわたり香友会発展にご尽力されました。心よりご冥福をお祈りいたします。



令和2年度香友会評議員会 及び 総会開催中止のお知らせ

高松南高校香友会

会 長 松 本 康 範

平素は香友会にご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

今年度開催予定の令和2年度香友会評議員会及び総会につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止を理事会におきまして決定いたしました。

令和元年度会計決算ならびに会務報告、令和2年度会計予算・会務予定について、香友会会則により理事会にて承認されました。

このような決定となりましたことについて何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、令和3年度香友会評議員会及び総会は、例年どおり開催する予定です。

今後とも、香友会にご協力を賜りますようお願い申し上げます。